

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成21年6月18日(2009.6.18)

【公開番号】特開2007-290234(P2007-290234A)

【公開日】平成19年11月8日(2007.11.8)

【年通号数】公開・登録公報2007-043

【出願番号】特願2006-120440(P2006-120440)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/05 (2006.01)

B 4 1 J 2/16 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 3 B

B 4 1 J 3/04 1 0 3 H

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月23日(2009.4.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

インクを吐出するために利用されるエネルギーを発生するエネルギー発生素子と、該エネルギー発生素子への電気エネルギーを供給する電気接続用パッドとが形成された素子基板と、

前記エネルギー発生素子に対応してインクの吐出口が形成されたオリフィスプレートと、

を有し、

前記オリフィスプレートの記録媒体と対向する面は、

前記吐出口が形成された第1の面と、

前記電気接続用パッドに隣接する縁部に沿って、該第1の面よりも前記素子基板からの高さが低く形成された第2の面と、

を有し、

前記第1の面は前記第2の面よりも高い撥水性を有している、インクジェットヘッド用基板。

【請求項2】

前記吐出口は、前記オリフィスプレートの長手方向に延びる吐出口群を形成し、

前記電気接続用パッドは前記長手方向の両端側に各々形成され、

前記オリフィスプレートは、

前記エネルギー発生素子を取り囲む外周壁と、

前記外周壁の内部空間を覆って、前記長手方向に延びる天井部と、

を有する、請求項1に記載のインクジェットヘッド用基板。

【請求項3】

前記オリフィスプレートはネガ型の感光性樹脂から形成されている、請求項1または2に記載のインクジェットヘッド用基板。

【請求項4】

請求項1から3のいずれか1項に記載のインクジェットヘッド用基板と、

前記電気接続用パッドと電気的に接続されて、該電気接続用パッドとともに電気接続部

を構成するインナーリードを備えたフレキシブル配線基板と、

前記電気接続部を封止する封止材と、

を有し、

前記封止材は、前記第2の面を覆い、前記前記第1の面を覆わないように形成されている、記録ヘッド。

【請求項5】

インクを吐出するために利用されるエネルギーを発生する複数のエネルギー発生素子が素子基板の長手方向に沿って形成され、該エネルギー発生素子への電気エネルギーを供給する電気接続用パッドが該長手方向の両端側に各々形成され設けられた前記素子基板に、該複数のエネルギー発生素子を取り囲むように外周壁を形成するステップと、

前記外周壁の内部空間を覆って前記長手方向に延びる天井部を、該天井部の該長手方向の寸法が該外周壁の長手方向の寸法よりも小さくなるように形成するステップと、

前記天井部の上面に、前記外周壁の上面よりも撥水性の高い撥水材を形成するステップと、

を有する、インクジェットヘッド用基板の製造方法。